

**授業概要**

現在、教育の現場において発達障害を持つ子どもへの支援は必須となっている。

自閉症スペクトラム、注意欠陥/多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）等の発達障害の定義や特性について解説する。また、それぞれに応じた教育的支援について説明する。実際の事例に基づく解説や演習を通して、より具体的なイメージをもち理解を深めることができるように授業を進める。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	発達とは
第3回	障害のある子どもの教育
第4回	障害とは
第5回	発達障害とは
第6回	自閉症スペクトラム1
第7回	自閉症スペクトラム2
第8回	注意欠陥/多動性障害（ADHD）1
第9回	注意欠陥/多動性障害（ADHD）2
第10回	学習障害（LD）1
第11回	学習障害（LD）2
第12回	学校における発達障害児の支援
第13回	他機関との連携
第14回	保護者支援
第15回	まとめ
第16回	定期試験

**到達目標**

発達障害について知り、それぞれの定義や特性を説明できる。  
発達障害をもつ子どもへの支援方法を理解する。

**履修上の注意**

やむを得ず欠席する場合、配布資料は出席する受講者にもらっておいてもらうようにすること。  
授業内容については各自ノートに記録すること。  
授業の進行に応じて、授業計画を変更する場合がある。

**予習復習**

毎回の授業内容を復習する。

**評価方法**

無断欠席、遅刻、途中退室、授業中の携帯電話の使用や私語は、減点評価の対象とする。  
受講態度 50%、テスト 50%で評価する。

**テキスト**

適宜資料を配布する。